

松瑛司 十金子都美絵

阿波の万葉集

松瑛司が収集した阿波の唄の世界

花籠に

浮名を入れて 洩らさじのう

人に知らせじ もつがしん

花摘まいのう 花

花摘まいのう

おおつや

こおつや

しょうだいなしや

浮世は恋にまさる身

(神踊り「花籠」)



2021 8/12(木) — 9/20(月)
9:30~17:00 (8月31日までは夕方18時まで)

会場 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷
徳島市川内町宮島本浦 184
Tel.088-665-2202、Fax.088-665-3683
入場料 一般410円、高・大310円、小・中200円
主催 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷

30年間にわたり、集落を奔走して
消えゆく阿波の唄をひたすら拾い集めた
執念の人、松瑛司。

今も昔も変わらない、恋心や人々の願いが
込められた唄の世界を、
金子都美絵がみごとに絵画で表現しました。
松瑛司が映した写真、書き残した解説とともに
徳島の人々の思いを感じてください。

ひのきえいじ(1923年 - 1996年)

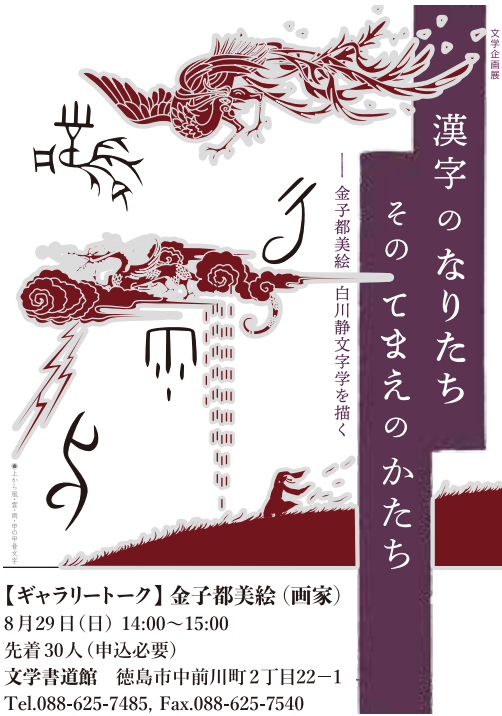
鳴門市出身の現代舞踊家。早稲田大学文学部卒業。1948年に桜塚司創作舞踊研究所創設。民俗芸能集団・阿波三郎座主宰。現代舞踊の振興に尽くす傍ら、徳島に伝わる民謡、民俗芸能の採集・調査研究に取り組んだ。自らカメラと録音機を担いで、四国各地の集落を訪ね歩き、脈々と唄い・踊り継がれてきた阿波の唄、祭り、集落の人々を、2,000枚以上の写真と音源に収めた。徳島民謡協会会長、徳島県文化財保護審議委員、民俗芸能学会会員などを歴任。文部大臣賞地域文化功労賞や徳島県文化賞などの賞を受賞。



一字村の雨乞い踊り 昭和四十五年五月十八日

かねこつみえ

1963年東京都生まれ。徳島市育ち。徳島市立高校、東京造形大学絵画科版画専攻卒業。白川静文字学を画本にする仕事として、『絵で読む漢字のなりたち』『白川静文字学に学ぶ漢字なりたちブック』(全7巻)、『新版101漢字カルタ』『ようちえんかんじカルタ』『文字場面集一字一絵』(いずれも太郎次郎社エディタス)、『[白川静の絵本]サイのものごたがり』『[白川静の絵本]死者の書』(いずれも平凡社)などのほか古代文字フォント「春秋-tsu」を制作、無料配布している。



【ギャラリートーク】金子都美絵 (画家)
8月29日(日) 14:00~15:00
先着30人(申込必要)
文学書道館 徳島市中前川町2丁目22-1
Tel.088-625-7485, Fax.088-625-7540

同時開催 漢字のなりたち そのてまえのかたち
——金子都美絵 白川静文字学を描く
8月12日(木)~9月20日(月祝) 9:30~17:00
月曜休館(9月20日を除く) 会場：徳島県立文学書道館 観覧料無料

ぜひ合わせてご鑑賞ください。

文学書道館と阿波十郎兵衛屋敷の間の移動には、今夏から運航を始めた「ひょうたん島 SUMMER TAXI」や「川内循環バス」をご利用ください。

ひょうたん島 SUMMER TAXI 運航期間(令和3年度)
8月1日(日)~10月17日(日)
10:00~16:00

風まかせ、潮まかせ。お天気次第の水上新タクシー、はじめました。スマホで予約し、文学書道館と阿波十郎兵衛屋敷の間の移動にもご利用いただけます。ただし、潮が低い時間帯は吉野川を横断できませんので、運航状況を特設ホームページでご確認ください。----->



川内循環バス 左回り、右回りのかわいらしい緑色の路線バス

文学書道館から阿波十郎兵衛屋敷へ

左回り(所要約17分)

助任橋・徳島大学前乗車	平日	9:55, 11:45, 13:05, 14:25, 16:25
十郎兵衛屋敷前下車	土日祝	10:15, 12:05, 13:35, 15:45

右回り(所要約30分)

吉野本町二丁目乗車	平日	9:24, 11:24, 14:34, 15:54
十郎兵衛屋敷前下車	土日祝	9:14, 11:24, 13:04, 14:34

阿波十郎兵衛屋敷から文学書道館へ

右回り(所要約6分)

十郎兵衛屋敷前乗車	平日	9:52, 11:55, 15:05, 16:25, 17:52
助任橋・徳島大学前下車	土日祝	9:42, 11:55, 13:35, 15:05, 17:32

左回り(所要約30分)

十郎兵衛屋敷前乗車	平日	10:12, 12:02, 13:22, 14:42, 16:42, 17:56
吉野本町二丁目下車	土日祝	10:32, 12:22, 13:52, 16:02, 18:16

